

まちづくり

チャレンジショップ
事業について

野本 翔平
(新政策研究会)

問 チャレンジショップ事業の進捗状況を具体的に教えてほしい。また、空き店舗を市が改装した後に創業希望者に提供することだが、どんな部分を改修するのか。

答 市報12月号にて出店者の募集を行い、今年度末の開業を目指している。改修は、行田らしさを感じさせる外観、例えば外壁を漆喰風や板張り、窓には木製の面格子、出入り口は格子戸形式等を考えている。内装は極力手を加えない。創業希望者に一定期間提供することだが、どのくらいの期間か。

問 一年以内を想定している。家賃は市が払うのか。

答 市が無償で提供する。

問 チャレンジショップに挑戦した人がその後お店を開くための場所は、市で候補地などを把握しているのか。

答 人それぞれ希望があるこ

とから、出店する店舗については基本的に自分で探してもらう。起業家支援の助成事業の対象にもなる。

問 ●産業文化会館アートギャラリーについて

答 アートは限定された空間の中に留まるものではなく、地域に開かれた存在であるべ



アートギャラリー

きである。中心部に位置するアートを扱う場所として、もっと積極的に地域と関わる企画を行っていくべきと考えるが市の考えはどうか。

答 当施設は版画家渥美大童氏の寄付により棟方志功氏及び渥美氏の作品を中心に常設展示したギャラリーとして、市民が質の高い芸術作品を直接鑑賞できるよう平成12年に開設したものであり、本市に縁のある作家の作品展示・保

市長の政治姿勢

事業評価、検証から
市政のロスと
税金のムダを質問
高橋 弘行
(発言と行動する会)

存などを行っている。郷土の文化に触れることでまちに愛着を持つことはまちづくりに繋がると考えており、今後も様々な工夫をするよう管理を行う財団に働きかけていく。
〔その他の主な質問〕
○障がいのある人たちの表現活動について

問 ●バスターミナル観光案内所。市長の計画立案は何を指したか。総事業費、設計、入札内容、検証は。

答 総事業費は5745万6千円。設計業務は5社指名で(有)林建築設計事務所が落札、建設工事は3社応札で(株)タナカが落札した。

問 観光案内所のコンセプトは。また、設計段階にて市民や議員の意見を聞いたのか。

答 その内容を検討したか。

答 市内の回遊性とポタリン

民や議員の意見は聞いていない。
問 ならば、この観光案内所は誰が決めたのか。

答 都市公園内用地管理の都市計画課、商工観光課である。

問 面積179・1㎡。これ以上つけれないと断った理由、法律は何か。

答 水城公園のエリアの内、あれが取りえる面積である。

問 この件について都市整備部長は相談を受けたか。

答 平成27年度は着任していないので、相談を受けていないが、都市計画課長には相談があったと聞いている。

問 課長はどう答えたか。

答 今年から着任したため、具体的な内容はわからない。

●忍・行田公民館

問 3億円の忍・行田公民館が来年5月オープンする。運営方法に変更はあるか。

答 施設は平屋建てで、高齢者や障害者の方も安心して利用できる。今後、より質の高い市民サービスの提供をするため、運営方法は公民館運営委員会にて検討・審議していく。

問 今後、65歳以上の方が増え、会場が取れない事が出て

くると思う。休館日をなくす考えはないのか。

答 休館日、仮に1館だけ開館し、万一事故があった場合、中央公民館は休館で、緊急の連絡体制の課題、また清掃業務等もあることから今までどおりとしたい。

耐震対策

小中学校体育館の
非構造部材の
耐震化について
吉野 修
(黎明21)

●指定避難所である小中学校体育館の非構造部材耐震化調査

問 東日本震災以降、体育館の天井材、照明器具、窓ガラス・窓枠、体育器具などの非構造部材の脱落による危険が指摘され、それを防止する対策が求められている。本市が、平成26年度に実施した耐震化調査の結果はどうか。

答 照明やバスケットゴール、スピーカーなど主な部材の固定状況を調査した。その結果、これらの部材の耐震化を図るための器具の交換や固定部分の補強など、必要な改修内容が